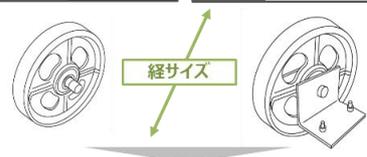
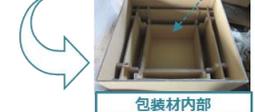


2023 日本パッケージングコンテスト 「テクニカル包装賞」「大型・重量物包装部門賞」をダブル受賞

ロジスティード株式会社は、公益社団法人日本包装技術協会主催「2023 日本パッケージングコンテスト」において、「エレベータ部品木箱の段ボール化」がテクニカル包装賞を、「試薬交換ロボット用スロープ付き輸送梱包箱」が大型・重量物包装部門賞をそれぞれ受賞しましたので、お知らせします。

1. エレベータ部品木箱の段ボール化：テクニカル包装賞

包装対象となるエレベータ部品は、シャフト付きとブラケット付きの2種類の製品を1セットにしたもので、従来は木箱で包装していました。2つの製品は寸法が異なり、それぞれに応じた専用木箱を製作しなければならないため、包装完了までの工数が多いなどの課題がありました。そこで、寸法が異なる2つの製品を纏めて包装できる共用包装材の開発に取り組みました。開発した共用包装材は、スリーブ・トレイ・組仕切り・上部押さえパッキンの4点で構成され、全て段ボールを使用しています。製品毎に専用木箱を製作する必要がなくなったため包装作業に必要な工数を50%削減、また、トレイ四隅の段ボールの耳部分をステッチ留め^(※)ではなく、テープ留めとすることで包装材廃棄工数も20%削減しました。さらに、包装材の調達から廃棄までの過程で発生するCO2排出量を43%削減することができました。

Before 木箱仕様		After ALL段ボール仕様	
製品A シャフト付き	製品B ブラケット付き	改善仕様	梱包手順 段ボール組仕切り×上部押さえにて2製品を包装
 <p>経サイズ</p>		 <p>包装外観</p>	 <p>1 組仕切りを用意する</p>
 <p>専用木箱 製品固定は内部のパッキンを使用</p>		 <p>包装材内部</p>	 <p>2 突起を下にし製品Aを包装</p>
<p>製品は2種類かつ経寸法は不均一の為 製品毎に専用木箱を設計</p>		<ul style="list-style-type: none"> ■ 荷姿：スリーブ・トレイ・組仕切り ■ 外寸：620×620×485mm ■ 包装質量：最大約205kg ■ 入数：2個/式 	 <p>3 突起上で上段に製品B包装</p>
			 <p>4 上部押さえパッキンを使用</p>
		<p>包装材の段ボール化+内部を組仕切り仕様 にすることで 梱包材の共用化を実現</p>	

改善前・改善後の比較

※ステッチ留め：段ボール接合時に、大きなホチキスのような機械を用いて金属の針で留める方法

